



## ■ 第2回「歩行空間 DX 研究会シンポジウム」開催 「『持続可能』な移動支援サービスの普及・展開に向けて」

日時	令和7年1月23日(木) 14時00分~16時30分
開催形式	会場参加・オンライン同時配信(YouTube ライブ) 【参加費無料】
場所	東洋大学赤羽台キャンパス INIAD ホール(東京都北区赤羽台1丁目7-11)

国土交通省では、誰もが自律的に安心して移動できる包摂社会の早期実現に向け、歩行空間における段差や急勾配といったバリアを避けたルート案内やバリアフリー施設の情報提供を可能とする等、デジタルを活用したサービスの普及・高度化を図るべく、様々な取組を進めています。

この度、広く関係者の皆様方と情報共有や意見交換を行うことを目的に設置した「人・ロボットの移動円滑化のための歩行空間 DX 研究会」において、第2回目のシンポジウムを開催することとなりました。

第2回目となる今回は、すぐにでも全国に普及展開が可能と考えられるデジタル技術の実証結果等に関する各WGからの報告の他、昨年度ノー・シナリオでご好評だったパネルディスカッションに先進的な取組を進められている自治体や企業・NPOに加え、パリ五輪にも出場され本施策アンバサダーの車いすバスケットボール選手等がご登壇される予定です。皆さま、ふるってのご参加をお待ちしております！

### プログラム

開催挨拶 (国土交通省 政策統括官 小善 真司)

#### <第1部> プロジェクト紹介・プレゼンテーション

- ・主旨説明: 東洋大学 情報連携学 学術実業連携機構長 坂村 健
- ・歩行空間の移動円滑化データワーキンググループ 取組報告:  
東洋大学 情報連携学部 情報連携学科 教授 別所 正博
- ・歩行空間の3次元地図ワーキンググループ 取組報告:  
日本大学 理工学部 交通システム工学科 教授 佐田 達典

#### <第2部> パネルディスカッション ~「持続可能」な移動支援サービスの普及・展開に向けて~

コーディネーター: 東洋大学 情報連携学 学術実業連携機構長 坂村 健

パネリスト(順不同):

- ・国土交通省 総合政策局 総務課 政策企画官 松田 和香
- ・NPO 法人仙台バリアフリーツアーセンター 代表理事 岩城 一美
- ・川崎市 まちづくり局 指導部 建築管理課 誘導促進担当係長 植野 弘実
- ・全日本空輸株式会社 経営戦略室 MaaS 推進チーム Universal MaaS プロジェクト  
兼 ANAHD 未来創造室 モビリティ事業創造部 MaaS 事業チーム マネジャ 大澤 信陽
- ・WHILL 株式会社 日本事業部 上級執行役員 事業部長 池田 朋宏
- ・本プロジェクトアンバサダー 車いすバスケットボール選手 網本 麻里

申込方法 下記 URL よりお申込みください  
(会場・オンライン共通)

<https://www.walkingspacedx.go.jp/symposium-application/>

詳細情報

シンポジウム HP

シンポジウムの詳細について随時情報を更新します!  
<https://www.walkingspacedx.go.jp/symposium2024/>

## ■総合交通メールマガジンのご案内

### ▶総合交通メールマガジンとは

総合交通メールマガジンは、**交通基盤整備や地域交通に関する最新の取り組み**を幅広く紹介することを目的として発行しているメールマガジンです。主な対象者は、都道府県・市町村等の交通施策担当者ですが、**どなたでもお申込みいただけます**。

当メールマガジンで紹介する記事は、執筆者が任意の協力ののもとで作成したものであり、成果を広く共有する観点から、二次的利用も可能な形式で掲載しております。

配信をご希望の方は、以下の事項を記載の上、3 ページの「お問合せ先」宛てにメールにてご連絡ください。

#### 【配信申込】

以下の事項を記載の上、3 ページの「お問合せ先」宛てにメールにてご連絡ください。

(団体の場合) 所属、氏名、電話番号、メールアドレス

(個人の場合) 所属(職業)、氏名、電話番号、メールアドレス

#### 【バックナンバー】

国土交通省ウェブサイトにて、過去に配信したメールマガジンもご覧いただけます。

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu\\_soukou.tk.000005.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou.tk.000005.html)



### ▶地域の取り組み・イベント案内 募集中！

当課では、**総合的な交通施策の取組**について情報提供頂ける自治体等を募集しています。**デジタル技術を活用した地域交通の維持・活性化に向けた取組**などを本メールマガジンで紹介し、ノウハウ等の共有を図りたいと考えております。自薦・他薦は問いませんので、3 ページの「お問合せ先」宛てにお気軽にお寄せ下さい。

また、**イベントや勉強会・講演会・セミナー**などにつきましても、当メールマガジンにてご案内させていただきます。主催者の方からでも、耳よりの情報でも構いません。3 ページの「お問合せ先」宛てに是非お寄せください。

### ▶総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

本メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえ、内容の充実を図りたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなどがございましたら、3 ページの「お問合せ先」宛てまでお気軽にご連絡ください。

### ▶配信先の変更について

メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方につきましては、配信先のご変更をお願いいたします。3 ページの「お問合せ先」宛てにご連絡ください。なお、様々な部署で楽しんで頂けるよう努めて参りますので、配信継続も歓迎しております。

---

## ▶ 関連メールマガジンのご案内

国土交通省では、当メールマガジン以外にも、[公共交通政策全般](#)について、国民の皆様に広く関心を持って頂くためのメールマガジン「[公共交通メールマガジン](#)」を配信しています。ご興味のある方は、以下より詳細をご確認ください。

### 【公共交通メールマガジンに関する詳細】

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei\\_transport\\_tk\\_000039.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000039.html)



---

## ▶ 編集後記

皆さま、年末年始はいかがお過ごしでしたか。私は家族で日光に行き、SL 大樹に乗ってきました。私が乗車した SL はかつて北海道で運行していた車両のもので、現在は東武鬼怒川線で活躍しているとのことでした。場所が変わっても地域に賑わいをもたらす姿は見事であり、鉄道の歴史の重みも感じることができる旅でした。新年の号外からのスタートとなりますが、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

### 【本メールマガジンに関するお問合せ先（配信申込、配信先変更、ご意見・情報提供 等）】

国土交通省 総合政策局 総務課（総合交通体系） 担当：伊藤

TEL：03-5253-8111（内線 53-113）

E-mail：[hqt-soukou01\(at\)mlit.go.jp](mailto:hqt-soukou01@mlit.go.jp) ※(at)を@に変えてお送りください

総合交通体系ウェブサイト：<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/index.html>

